

【お悔やみ申し上げます】 足立敏之参議院議員

令和6年12月末に足立敏之参議院議員が逝去されました。足立議員は生前、建設産業の再生と発展に向けて尽力されていました。心よりお悔やみ申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

・足立敏之氏(あだち・としゆき)
参議院議員(比例代表・二期目)。
元国土交通省技監。京都大学大学院修了。令和6年12月27日に渡航先のモルディブ共和国で水難事故により死去。70歳。葬儀告別式は令和7年1月11日に東京都港区の増上寺光摂殿で執り行われました。

PC建協新年賀詞交歓会を開催

PC建協は、令和7年1月16日に東京都千代田区のホテルグランド

アーク半蔵門にて「新年賀詞交歓会」を開催しました。

コロナ禍以前の規模で開催することができ、来賓として古川康国土交通副大臣をお迎えし、関係省庁、機関、関連団体から約530人の皆様にご参加いただきました。

冒頭に堤忠彦PC建協会長は令和6年12月に逝去された故足立敏之参議院議員へのお悔やみとPC業界に対するご支援への感謝の言葉を述べ



▲ 新年の挨拶を述べる協会長



▲ PC建協新年賀詞交歓会の様子

ました。また、令和6年1月の能登半島地震での災害対応を報告し、「今後はさらなる生産性向上や担い手確保を推進し、PC技術の研鑽と社会への魅力の発信に取り組み、PC業界が若者に選ばれる業界となるように努めていきます」と新年の挨拶を述べました。続いて来賓の皆様からご挨拶をいただきました。

令和7年度の本部主催の 意見交換会テーマ等決まる

PC建協は、令和7年度の各発注機関との意見交換会について、基本となる提案テーマを次の通り決定しました。

意見交換会は、6月の国土交通省

道路局を皮切りに、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局と7月から10月にかけて開催予定です。

1. 年度工事量の安定的な確保
 - ① 年度工事量の安定的・持続的な確保
 - ② PC新設の新規プロジェクトの創生
2. 働き方改革の推進
 - ① 完全週休2日(土日+祝日)の更なる推進
 - ② 総労働時間の削減
 - ③ 技能労働者の処遇改善
3. 生産性向上の推進
 - ① プレキャスト化の推進
 - ② ICT活用の推進
 - ③ BIM/CIM活用(BIM/CIM活用)
4. PC橋の長期保全の推進
 - ① ECI方式の推進
 - ② 地方自治体への支援要請
5. 機能性向上と構造デザイン性を有するプレキャストPC建築の推進
 - ① 官庁営繕・土木営繕の計画にプレキャストPC造を推進
 - ② プレキャストPC造の採用を加速させる選定フローの採用

PC技術専門家を派遣

PC建協では多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家派遣事業を展開しています。

（関東支部）

令和7年2月12日に横須賀工業高校建設科の2年生34人を対象に、専門科目の一環として「プレストレストコンクリート橋について」および「PC橋の施工」と題した講義を行いました。

講義ではPCの基本概要や施工について資料や模型などを使って説明し、身の回りのPC構造物の実例などを紹介しました。

（北陸支部）

令和7年1月23日に福井大学工学部都市環境工学コースの3年生21人を対象に「PC橋の概要と施工」と題した講義を行いました。

前半はPCの概要や建設業の仕組み、PC橋の歴史などについて。後半は福井県内の身近にある橋梁の構造や施工方法をシース、PC鋼線の実物を用いて説明しました。学生からは「PCの特性や施工について理解が深まった」といったコメントをいただきました。

開催日	支部名	学校名
11月14日	関西	和歌山工業高等専門学校
12月2日	中国	呉工業高等専門学校
12月5日	東北	東北工業大学工学部
12月5日	北陸	富山県立大学工学部
12月6日	関東	木更津工業高等専門学校
12月9日	中国	広島工業大学工学部
12月13日、1月8日	関東	茨城大学工学部
12月16日	関西	和歌山工業高等専門学校



▲ 福井大学での講義の様子

そのほか、令和6年11月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

現場見学会を開催

現場見学会が各地で開催されました。

（関西支部）

令和7年1月24日に滋賀県東近江市の三井住友建設(株)能登川工場で国土交通省近畿地方整備局の技術職員14人を対象に現場見学会を実施しました。

この見学会は、同整備局技術職員に対する技術力向上と技術継承を目的に「近畿地方整備局技術力向上プロジェクト会議における工場視察」と題して行われています。

工場では、プレテンション桁、コン

開催日	支部名	学校名
12月17日	関東	千葉工業大学創造工学部
12月18日	北陸	石川工業高等専門学校
12月20日	関東	中央大学理工学部
12月20日	北陸	長岡工業高等専門学校
12月23日	関西	大阪工業大学工学部
1月9日	関東	群馬工業高等専門学校
1月15日	東北	秋田大学理工学部
1月20日	関東	日本大学理工学部
3月4日	関東	那須清峰高校



▲ 熱心に視察する近畿地方整備局の技術職員

ポ格、PC床版の製作手順を見学。続いて工場製品の品質管理の様子を具体的に説明してもらいました。また実施方法を説明した後に操作体験をしてもらいました。熱心に耳を傾けながら細かくメモを取る様子が見え、多くの参加者から質問が寄せられました。

その他

・2月5日 (株)富士ピー・エス
三重工場、国土交通省近畿地方整備局技術職員 15人

各地でPC技術講習会を開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

(中国支部)

令和6年12月3日にオンライン形式で開催された「令和6年度鳥取県土木技術講習会(主催：(公財)鳥取県建設技術センター)」において自治体職員など97人に対して講師を務めました。

今回の内容は、PC橋の維持保全の基本事項、PC技術の変遷と復元設計、PC橋の点検要領と調査手法、PC橋の補修補強技術でした。

その他

- ・ 令和6年12月20日 令和6年度橋梁技術講習会(主催：福島県土木部、共催：PC建協、(一社)日本橋梁建設協会) 38人
- ・ 1月27日 令和6年度奈良県土木技術職員研修(主催：奈良県県土マネジメント部) 25人
- ・ 2月3日～14日 令和6年度PC技術講習会(主催：PC建協中国支部、(一社)建設コンサルタント協会中国支部) 28人、オンライン形式

安全パトロールを実施

(東北支部)

令和6年12月13日に宮城県丸森町の内川流域五福谷橋上部工工事の工事現場で安全パトロールを実施しました。今回のパトロール隊は会員各社の女性社員9人でメンバー構成しました。

工事現場では現場代理人から工事概要とパトロール中の注意事項について説明を受けた後、まず事務所・倉庫関係を確認しました。次に工事現場へ移動し、現場担当に質問しながら1時間かけて綿密にパトロールを実施しました。



▲ 安全パトロールを務めた会員各社の女性社員

第23回(令和6年度)高校生「橋梁模型」作品発表会

(東北支部)

令和7年2月13日に仙台市青葉区のエル・パーク仙台で「第23回(令和6年度)高校生「橋梁模型」作品発表会(主催：高校生「橋梁模型」作品発表会実行委員会(東北地方整備局東北技術事務所、PC建協などが構成))が開催されました。

今回は東北5県の14校が全18作品を応募。宮城県仙台市立仙台工業高等学校の「猿橋(山梨県大月市)」が最優秀賞に選ばれました。



▲ 最優秀賞：宮城県仙台市立仙台工業高等学校「猿橋(山梨県大月市)」

建設技術イベントに出展

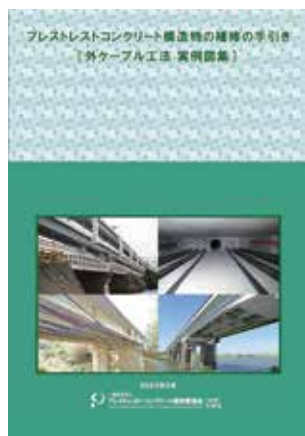
(関西支部)

令和6年11月15日と16日に大阪府枚方市の国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所で、「ふれあい土木展2024(主催：国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所)」が開催されました。2日間で1300人の来場がありました。

PC建協はPC技術を楽しく学べるように、「コンクリートの板でぴょんぴょん跳ねてみよう!」と題したPC板に乗った人の体重レベルを動物のアニメーションで表示するゲームを展示しました。



▲ PC板の上で跳ねる来場者の様子



PC建協、書籍を刊行

PC建協は『プレストレストコンクリート構造物の補修の手引き（外ケーブル工法 実例図集）』を令和7年3月に刊行しました。

この書籍は『プレストレストコンクリート構造物の補修の手引き（外ケーブル工法・外ケーブル補修工法）』が再改訂版として令和5年8月に発刊されたことに伴って、新たに構造形式や補強目的・工法別に特徴がある15実例を選出しまとめたものです。

詳細はPC建協事務局まで。

その他

- ・建設技術展2024近畿 学生のためのキャリア支援（主催：（二社）近畿建設協会、日刊建設工業新聞社など） 34人

全国から開通情報

（北陸支部）
富山県 主要地方道高岡環状線（上伏間江～二塚高架橋）開通

令和7年3月22日に富山県的主要地方道高岡環状線上伏間江～二塚高架橋（延長1.3km）が暫定2車線で開通しました。この開通により、交通渋滞の緩和や道路ネットワークの強化による経済産業の活性化が期待されています。

南郷大橋西詰で催された開通セレモニーでは地元関係者ら180人が出席し、テープカット、くす玉開披などで開通を祝いました。



▲南郷大橋西詰での開通セレモニーの様

（中部支部）
愛知県 国道23号名豊道路蒲郡バイパス（豊川為当IC～蒲郡IC）開通

令和7年3月8日に愛知県の国道23号名豊道路蒲郡バイパス豊川為当IC～蒲郡IC（延長9.1km）が暫定2車線で開通しました。この開通により名豊道路（総延長72.7km）は全線開通となりました。名古屋～豊橋間は国道1号を利用するより、これまでの開通区間で30分、全線開通で更に20分短縮されます。

蒲郡市の蒲郡IC付近で催された開通セレモニーには自治体関係者らが出席し、テープカット、くす玉開披などで開通を祝いました。

（中国支部）
島根県 山陰道出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路、開通

令和7年3月2日に島根県の山陰道出雲・湖陵道路と湖陵・多伎道路の出雲IC～出雲多伎IC間（延長計8.9km）が暫定2車線で開通しました。

この開通により、山陰道は鳥取県琴浦町の大栄東伯ICから島根県大田市の石見福光ICまでの約150kmが一本につながります。

出雲湖陵ICで催された開通セレ

モニーには自治体関係者らが出席し、テープカットなどで開通を祝いました。

（四国支部）
高知県 高知自動車道南国安芸道路（高知竜馬空港IC～香南のいちIC）開通

令和7年3月15日に高知県の高知自動車道南国安芸道路高知龍馬空港IC～香南のいちIC（延長3.5km）が開通となりました。

南国市の高知竜馬空港IC付近で催された開通式では、地元中学校によるブラスバンド演奏や子どもよさこい踊りなどで開通を祝いました。

その他

- ・福井県 主要地方道坂本高浜線石山区
- ・岐阜県 東海環状自動車道 山県IC～本巣IC
- ・静岡県 島田金谷バイパス4車線供用化 旗指IC～大代IC
- ・静岡県 金谷御前崎連絡道路 金谷相良道路II区
- ・三重県 国道1号北勢バイパス四日市市道日永八郷線～国道477号バイパス
- ・三重県 東海環状自動車道 いなべIC～大安IC

- ・福岡県 国道201号八木山バイパス 篠栗IC↗筑穂IC
- ・長崎県 西九州自動車道4車線供用化 佐々IC↗佐世保中央IC
- ・宮崎県 都城志布志道路 都城IC↗乙房IC
- ・鹿児島県 都城志布志道路 志布志IC↗志布志港

令和7年度各種講習会日程

(PC建協主催)

第32回プレストレストコンクリート建築技術講習会

●演題

- ①荷揚複合公共施設
(株)久米設計 福田光俊、田中敬
- ②石垣CIQクルーズターミナル
(有)アトリエ・門口 砂川佳久、(株)建造設計 玉城智考
- ③明治大学生田キャンパス
(株)日建設計 大場彬史
- ④中央区立晴海西小学校・中学校
(株)石本建築事務所 原健一郎、榎原由紀子

- 日時 7月11日(金)13時～17時
- 受講方法 建築会館(東京都港区)での対面方式(東京会場)とオンライン形式「Zoomウェビナー」の併用。オンラインシステム「Zoom

mウェビナー」はURLより事前登録し、Zoomウェビナー参加用URL(本人専用)を受け取りアクセスする方式。さらに7月14日より14日間オンデマンド形式にて録画配信を行う

(ただし、受講認定及び受講証明書の発行対象は当日分のみ)

●質疑 当日会場かチャットにて回答

- 受講資料 7月初旬からPC建協ホームページよりダウンロード
- 定員 東京会場200人、当日オンライン受講1000人(東京会場、オンライン、オンデマンド共に事前登録制)
- 参加費 無料
- 建築CPD認定講習会 4単位、建築構造資格更新評価点 5点、適用予定
- 問い合わせ PC建協事務局

(PC工学会主催)

第52回プレストレストコンクリート技術講習会

●特別講演

- ①構造物のより合理的な維持管理を目指す―既設構造物の構造性能評価―
北海学園大学教授 高橋良輔
- ②プレストレストコンクリート黎明

期に建設された茂喜登牛水路橋の解体調査
東京大学大学院教授 石田哲也

●テキスト題目

- 建築 環境と調和するPC建築―持続可能な都市づくり(建物紹介)―
近畿大学教授PC工学会理事 岸本一藏、(株)梓設計 配島健夫、(株)久米設計 福田光俊、(有)ナスカ一級建築士事務所 山田章人
- 道路橋 高速道路の取組み
(1)NEXCOにおけるリニューアル工事および新設橋梁の施工状況

- 東日本高速道路(株) 藤野和雄
- (2)首都高速1号羽田線有ヒンジラーメンPC橋支承部の補修
首都高速道路(株) 永井政伸
- 鉄道橋 鉄道の取組み―新設PC橋の設計・施工最前線―
(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 朝長光

海外 PC技術に関する海外の話題

- (1)fibシンポジウム2024クワイストチャーチ参加および橋梁視察
八千代エンジニアリング(株) 伊藤均
- (2)次世代の橋梁技術者と建設管理者に関する日米会議
オリエンタル白石(株) 二井谷教治

PCアーカイブス わが国最古のPC建築物の解体・劣化調査―JR浜松町駅上家―

日本大学教授 福井剛、東日本旅客鉄道(株) 原口圭

- 日時 6月2日(月)～23日(月)
- オンデマンド動画を配信
- 土木学会継教育(CPD)プログラム認定単位数 4・4単位
- 受講料 4000円

(富士教育訓練センター主催・PC工業協会協力)

第15回PC工事技能実習

- 10月14日(火)～16日(木)
富士教育訓練センター

第9回コンクリート橋架設等作業主任者技能講習

- 10月16日(木)～17日(金)
富士教育訓練センター

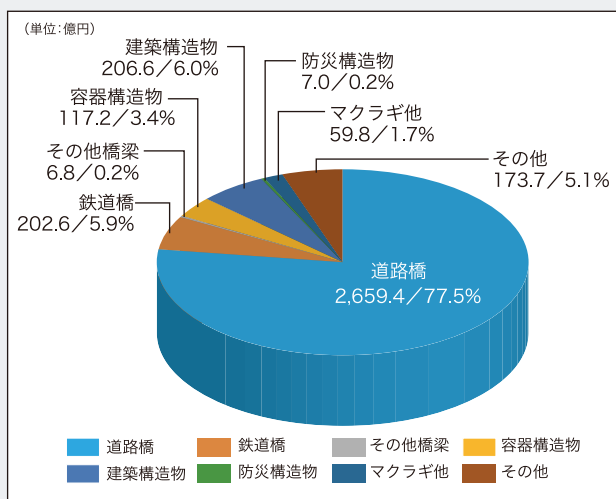
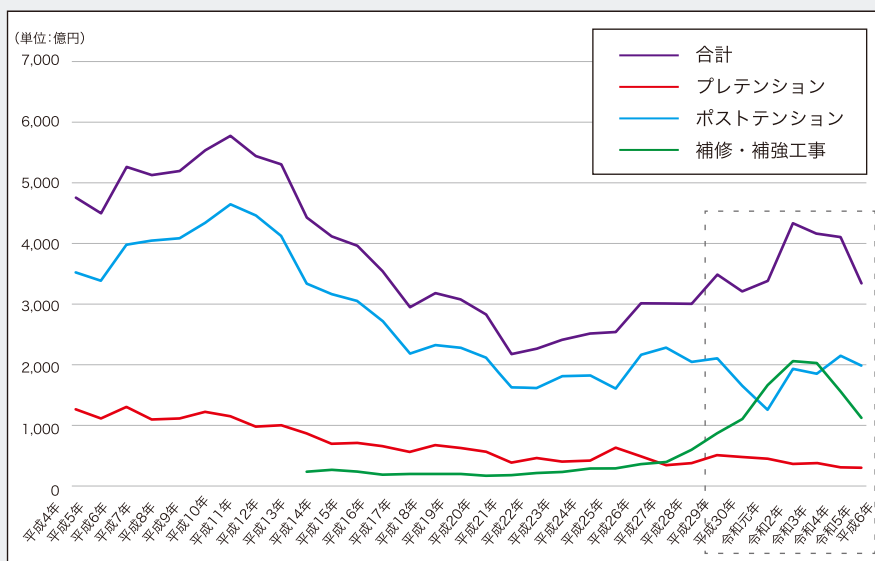
PC統計(受注実績)

令和6年度のPC建協会員の受注高は、新設部門が209億円減の2,315億円(前年度比92%)、補修・補強部門が465億円減の1,118億円(前年度比71%)といずれも減少した結果、全体として前年度より675億円減の3,433億円(前年度比84%)となりました。

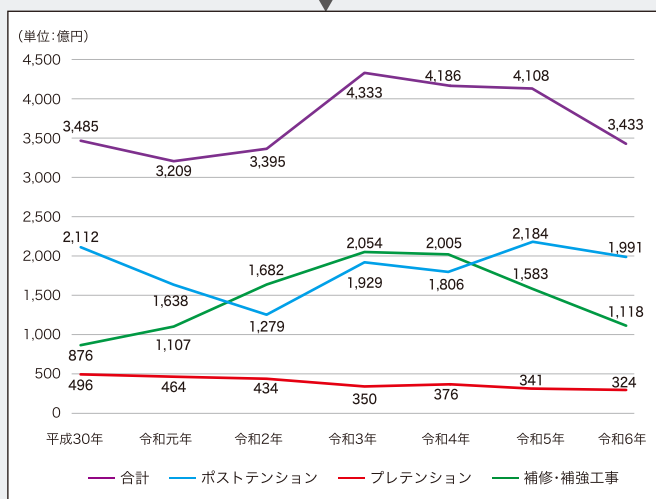
令和3年度から続いていた4,000億円台には到達しませんでした。平成27年度から10年連続で3,000億円を上回りました。

用途別では、道路橋が2,659億円(前年度3,204億円)、鉄道橋が203億円(前年度368億円)となりました。

道路橋の内訳は新設工事が1,670億円(前年度1,653億円)、補修・補強工事は989億円(前年度1,551億円)となりました。



令和6年度用途別受注実績



年度別受注推移

編集委員会

荒瀬 美和(編集委員長)、石井 一生(副委員長)、
吉山 誠之(副委員長)、湯山 芳夫、照井 満、鈴木 裕二、
松井 敏二、堀 重伸、大塚 俊介、牧 哲史、太野垣 泰博

編集部会

荒知 智志(部会長)、武藤 浩美(副部会長)、木村 良輔(副部会長)、
瀬戸 裕一郎(副部会長)、園田 健児、河野 雅弘、喜多 俊介、三輪 祥大、浅野 真人、
勝野 源基、福井 大樹、中田 清博、直井 秀市、小林 晃一、渡邊 絵美、小楠 元久

編集後記

阪神・淡路大震災から30年を迎えた神戸とその周辺を訪れ、震災の記憶を辿りながら復興の軌跡と現在の姿を感じることができました。神戸の街が再生を遂げ、未来に向けて確実に歩みを進めている様子を実感し、心に残る旅となりました。また、震災を経験した人々が残した教訓を、今後どのように活かしていくべきかを改めて考えさせられる機会にもなりました。さらに、国土交通省国土技術政策総合研究所の星隈部長にインタビューを行い、阪神・淡路大震災当時の状況や耐震技術の発展について貴重なお話を伺いました。その内容をコラム記事として掲載しています。

また、「名橋をめぐる」では、これからのPC橋を支える新技術の先駆けとなった酒田みらい橋と別荘谷橋についてご寄稿いただきました。「こんなところにPCが!」では、琉球ホテル&リゾート名城ビーチの各建物に取り入れられたPC技術をご紹介いただきました。「明日を築くプロジェクトの風景」では、四国8の字ネットワークの整備が進む様子を紹介していただきました。

寄稿やインタビューでご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

(勝野)